



我孫子市  
Abiko city

平成29年10月30日  
定例記者会見資料



# Japan Bird Festival 2017

～人と鳥の共存をめざして～

## ■開催主旨

自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした芸術的・文化的な事業をはじめ、科学的な鳥類知識の普及及び教育的・環境的視点にたった事業の実施を通して、新しい地域文化の創造及び人と鳥が共存する豊かな生活を目指しています。併せて日本各地および世界にその情報を発信し、芸術文化の素晴らしさや身近な取り組みから自然環境の大切さをアピールしていきます。

## ■JBF2017 PRポイント

- ①新しい会場「オオバン広場」
- ②海外から8ヶ国の出展
- ③特設ステージのイベント
- ④鳥について学べる「鳥学講座」

### ①新しい会場「オオバン広場」

昨年まで使用していた鳥の博物館駐車場（鳥博広場）の南側に新たに多目的広場が整備されましたが、より親しみを持ってもらうため、我孫子市の鳥「オオバン」にちなんで「オオバン広場」と名付け会場の一つとして使用します。鳥博広場よりも広いので、出展数が増えても広々と使えるため、来場者の方にもお楽しみ頂けます。

また、リニューアルオープンした水の館では研修室での講演会や朗読会、プラネタリウムの設備を活かしたスライドショーを見ることができます。

### ②海外から8ヶ国の出展

2015年度より海外出展国を招へいしていますが、今回はこれまでも出展していた台湾、フィリピン、モンゴルに加え、新たにハワイ、ネパール、タイ、イスラエル（大使館）、マレーシアの5ヶ国からの出展があります。



ハワイ



タイ



マレーシア

海外出展国のスライドの一部

海外出展国はJBF実行委員会関係者を通しての招へいが主となっておりますが、ハワイやイスラエル大使館については直接実行委員会へ出展申し込みがあるなど、海外でもJBFの知名度が高くなっていると感じさせ、今年も国際交流の場としての盛り上がり期待されます。

水の館プラネタリウムでは海外出展国の自然や文化、野鳥等に関するスライドショーの上映があり、出展ブースでは見られない映像を楽しむことができます。

: オオバン広場、水の館

### ③特設ステージのイベント

7月にデビューしたばかりで、人気沸騰中の青春系放課後アイドル「手賀沼サンセット」のほか、「鳥くん&The PIPITZ」や「ソノライフ」、「鈴木美也子」によるライブだけではなく、新しい「あびこ3館クイズ」や「クイズ鳥声イントロどん!」、そして毎年盛り上がる「じゃんけん大会」など、様々なイベントがあります。

: 親水広場特設ステージ



人気沸騰中の手賀沼サンセット



鳥くん&The PIPITZ

### ④鳥学講座「夢を運べ、北の島から日本の空へ-絶滅から復活への道を歩むシジュウカラガン-」

講師：呉地正行（日本雁を保護する会 会長）

: アビスタ

我孫子市では、かつて手賀沼で雁が見られていたことから、その雁を再び見ることができる風景を取り戻すということを、将来都市像のひとつとして掲げています。

そのような中、以前JBF実行委員会に所属し、今なお山階鳥類研究所と関わりがある「日本雁を保護する会」が、一度絶滅寸前にまで数を減らしたシジュウカラガン（ガン類の一種）の復活へ向け全国をキャラバン活動しているとの情報があり、アプローチをとった結果、鳥学講座でご講演頂くとともに、ブースでもご出展頂けることになりました。

### ■その他のイベント紹介

①鳥をはじめとする自然環境に関する講演

#### ◎ゲストトーク「世界に注目されるモンゴルの野鳥と自然環境」

講師：ハンバー・トゥメンデルゲル（南ゴビ観光組合会長、Tum-Eco Tour）

齊藤 寛和（Tum-Eco Tour）

: 鳥の博物館

※モンゴルには、野鳥をはじめとする野生動物・自然・昆虫・恐竜の化石・星空などを観に、世界の多方面から多くの人々がやってきています。野鳥を中心に、バードウォッチングツアーに付随して見ることのできる様々なモンゴルの魅力をお話しいたします。

## ◎「北海道の野鳥の魅力と“今”を語る」

講師：谷口高司（野鳥図鑑画家）、大橋弘一（野鳥写真家）、有田茂生（根室市観光協会）

：水の館

※北海道、特に道東の野鳥の魅力や現状、自然保護の取組などについてお話しいたします。

②絵画展、鳥の彫刻展（バードカービングによる社会貢献）：アビスタ

③鳥の写真展（1,000点以上を展示）、鳥や野鳥写真の講演会：アビスタ

④常時、実際の野鳥を見ることができる野鳥観察スペース「湖畔バードウォッチング」や、人気がため例年より増便したチケット購入制の「船上バードウォッチング」

：手賀沼親水広場手賀沼湖畔及び手賀沼

⑤鳥のアクセサリや様々な鳥グッズ販売、鳥をモチーフにした小物作り、書籍や望遠鏡、双眼鏡メーカー、撮影用品などの出展

：手賀沼親水広場、オオバン広場

⑥行政、NPOなどのパネル展示やワークショップ：手賀沼親水広場、オオバン広場

⑦小・中・高校生による環境学会（11月5日10:00～）：アビスタ

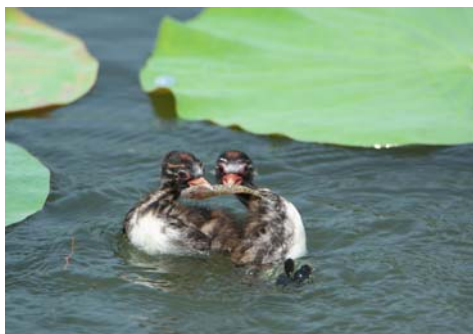
⑧会場2箇所に「顔出しパネル」を設置（来場記念の写真撮影）：手賀沼親水広場

### ■（参考）昨年の来場者数

約40,000人（2日間の延べ人数）

### ●全日本“鳥”フォトコンテスト（BIRD-1グランプリ）

日本最大級の鳥のイベント“ジャパンバードフェスティバル”の実行委員会が主催する8回目の野鳥写真公募展です。今年もグランプリ作品には、文部科学大臣賞（生態・行動部門）、環境大臣賞（環境部門）を授与します。そのほか、協賛企業が選出した企業賞を含め、全24作品が入賞となっています。また、ほとんどの応募作品（1,000点以上）を11月4日（土）、11月5日（日）アビスタミニホールに展示します。



JBF2017 生態・行動部門グランプリ

文部科学大臣賞

「奪い合い」

撮影地：埼玉県川越市

廣田 純平さん（埼玉県上尾市在住）



JBF2017 環境部門グランプリ

環境大臣賞

「安心の場所」

撮影地：北海道札幌市

大野 泰之さん（北海道札幌市在住）

応募総数	2017年	生態・行動部門	287人	752点
		環境部門	120人	284点
		総数	407人	1,036点



## ● ジャパンバードフェスティバルオリジナルグッズの販売

毎年オリジナルピンバッジの作製を行っていますが、昨年からより多くの人にジャパンバードフェスティバルへ親しみを持ってもらうために、オリジナルマフラータオルも作製しています。ピンバッジと同様に、オオバン広場およびアビスタの案内所、鳥の博物館にて販売します。

(販売予定価格：ピンバッジ：300円(税込)、タオル：1,000円(税込))



2017 ピンバッジ



オリジナルマフラータオル(縦20cm×横110cm)

## ● ジャパンバードフェスティバル2017 プレイベント

### 1. 「湖北中学校、湖北台中学校美術部によるコアジサシのデコイづくり」

(1) 事業目的：コアジサシの保護活動の現状を知ることや、一つの木片から鳥を掘り出し、本物そっくりの鳥を作ることで、鳥や自然への興味の啓発を図り、完成品をJBF会場に展示することで、来場誘致をします。

(2) 実施場所・期間：湖北中学校、湖北台中学校美術室／9月25日(月)  
作成開始

(3) 参加人数：約25名



### 2. 「ちょっと先取りJBF2017 inアビシルベ」

(1) 事業目的：我孫子インフォメーションセンターアビシルベに、ジャパンバードフェスティバル(JBF)の歴代ポスターの展示を行うとともに、スライドショーや動画で過去のJBFの様子を流し、JBFをPRし当日の来場を誘致します。

(2) 展示等の場所・期間：我孫子インフォメーションセンターアビシルベ  
10月24日(火)～11月5日(日)

### 3. 「鳥の絵ミュージアム」

(1) 事業目的：市内小学生が描いた鳥の絵を、商店の店頭やアビシルベ、水の館の内に展示することで、我孫子市で開催される鳥のイベント『JBF』を多くの市民の皆様にご存知いただくとともに、子ども達やそのご家族に地元商店をもっと身近に感じていただきます。

(2) 展示等の場所・期間：天王台北口商店会の商店、アビシルベ、  
水の館手賀沼ステーション、あびバス など  
9月下旬～11月5日(日)



#### 【問い合わせ】

我孫子市環境経済部手賀沼課  
担当 辻、大矢

☎04-7185-1484